

# 発見! 街のプロフェッショナル

## バレーボールチーム <大井第一エンジェルス>

街が暗くなり始めたころ、「だいち〜ファイト!ファイト!ファイト!」と元気の声が大井第一小学校の体育館から聞こえてくるのを知っていますか? バレーボールチーム【大井第一エンジェルス】のメンバーたちです。大会では、長いラリーを勝っては喜んで、負けては悔し涙を流すなど、テレビやスマホの動画を観るだけでは味わえない、刺激と感動を日々経験しています。



主監督は岩瀬一人(かずひと)さん。チームに対する思いを聞いたところ、『「チームワークを意識した、小学生らしい明るく元気な子」の育成を目指して指導しています。実際に小学生は、強いスパイクが打てないのでラリーが続くと、いつボールが落ちるかハラハラドキドキがたまりません』と優しい笑顔で語ってくださいました。

6年生のキャプテンも「今は大きな目標にむけてみんなと頑張ってる練習をしています!バレーボールには色々な技があり、自分ができるようになると楽しいです!」と輝く笑顔で語ってくれました。

最後に監督からひとこと。「大井第一エンジェルスのメンバーが元気いっぱい汗を流す姿を、ぜひ応援ください!!」



大井地区には気軽に楽しくできるスポーツ団体がたくさんあるので、みんなも興味を持ったスポーツに挑戦し、一生に一度の“ゴールデンエイジ”\*を有意義に過ごしませんか?

\*“ゴールデンエイジ”とは、体の神経系統がほぼ完成する12歳くらいまでのことを示し、この時期に脳がさまざまな運動から刺激を受けることで、神経機能が発達・向上し、生活への意欲や自己肯定感の向上にもつながる期間のことです。

出典：立花 龍司(2006). 運動神経は10歳で決まる! マキノ出版, 文部科学省 幼児期運動指針ガイドブック

大井第一エンジェルス VBC  
(大井第一小学校以外の生徒もたくさん所属しています)  
東京都小学生バレーボール連盟 第四支部/品川区小学生バレーボール連盟 加盟



興味のある方はこちらのQRコードからどうぞ!



【取材:中村】

色とりどりの幻獣達がどの子も可愛く格好よく書けてます。鉛筆を何色か使ったきれいな色味を出しているのがとてもいいですね!全体の構成はバラバラの印象なので配置や大きさにメリハリをつけてもいいかも。



題名 : 「げんじゅう」  
ペンネーム : 岬 大井第一小学校 6年

## イラスト

お母さんの声?

イラスト

「母親への声」を直接叫んじやうなんて。子どもに一本とられましてたね笑【高木】

子: スーパーにて  
子: お母さん、この箱はなに?  
母: それはね。『お客さまの声』って言うって、直してほしいことや、こうしたいほうがいいよ。ってことを伝えるんだよ。  
子: そうなんだ...  
(呼吸おいて箱へ向かって)  
「お母さん!すぐに怒るのやめてえ〜」  
母: いやだあ〜恥ずかしい(汗)



## わ! しながわ

地域の方を紹介するコーナー。次の方を紹介して頂き『地域の輪』をつなげていきます。

### よりき 寄来書道教室 おとう かつえ 武藤 勝衛さん

第23回



寄来書道教室の武藤勝衛さんは山中小学校、伊藤中学(現在の伊藤学園)を卒業、息子さんの小学校で書道を教えたのをきっかけに42歳の時に教室を開校されました。学生時代はブラスバンド、ギターを趣味にしており、書道は高校卒業後に始めたそうです。

戦時中の集団疎開以外は、大井町に住んでおられ、移りゆく大井町の街並みの変化を懐かしそうに話して下さいました。

生徒さんと接するとき「楽しかった気持ちで大事に。良いことを伸ばしてあげる」を心掛けておられるとのこと。開校から40年以上、奥様とご自身のお姉さんの3人で、幼稚園生から90才までの幅広い年齢の生徒さんと稽古されており、大井町教室以外に東品川の教室でも指導されています。

趣味はご夫婦で温泉や音楽を聴きに行くことや近隣にお住まいの息子家族やお孫さんと集まり団らんすること。「娘さんがいづれ継いでくれることを密かに楽しみにしている」とこやかに話して下さいました。優しい眼差しで取材に応じてくれた武藤さん、おらかな人柄に生徒さんが惹かれ集まると感じました。

次回は、お向いの米屋「新谷商店」新谷明弘さんのお話を伺います。おたのしみ!

【取材:宮内】

# “カポエイラ”を知ってみ隊!

カダラカポエイラ東京

連絡先 yutamigao24.kadara@gmail.com



“カポエイラ”って聞いたことありますか? 「聞いたことあるけど、どんなことするの? 格闘技かな?」と疑問がムクムク。調べてみるとユネスコの無形文化遺産に登録されているとのこと。そこで今回、実際の練習風景を見学させていただきながら、講師である【カダラカポエイラ東京】のYuta先生に素朴な質問をしてきました!!



ピリンバウを弾く様子

Q: カポエイラの魅力を教えてください。

A: 格闘技の面だけでなく、カポエイラには歌、楽器、ダンス、仲間を得ることが出来ます。ルールは一つだけ「蹴りは相手にあててはいけない。あとはたのしく踊りながら技を競う。小さい子でも、高齢の方でも誰でも参加できます。みんなで歌って手拍子が合わさった瞬間はめちゃめちゃ楽しいです。

Q: 日本での競技者人口は?

A: ネットによると3000人。実際もっといると思います。



マクレレ(棒を持った動き)の練習



コンパッソ(蹴り技のひとつ)

Q: 格闘技ですか? ダンスですか?

A: ダンスに見せかけた格闘技です。楽器と歌でリズムをとり、みんなが輪になって、その中心で二人が戦います。戦うと言っても技を当てたりはしません。

Q: カポエイラ? (カポエイラって何ですか?)

A: 正式名称は Capoeira。カポエイラです。ブラジル発祥の格闘技です。奴隷制度があった時代に開発された格闘技で踊りながら戦います。



アウーパチドゥをする Yuta 先生

Q: どんな活動をされていますか?

A: 子ども向けの練習がメインです。柔軟体操やリズムトレーニングを行ってキックの組み合わせを練習します。最後には自由に動いて、今までやってきたことの復習をします。地域のイベントなどに出演し、練習の成果を発表します。



練習後に全員集合!

練習を見学させていただくと、「ん? 格闘技?」と思う場面がしばしば。ポルトガル語でのストレッチを終えてから、倒立や技の練習をします。[ピリンバウ]という、弓矢を棒で叩いて音を出す楽器を弾いて、歌いながら、覚えた技を自由に表現したり、とても楽しそう。格闘技のイメージであるピリピリとした緊張感はまったくありません。戦うけど勝ち負けのない格闘技。不思議で華麗な“カポエイラ”でした。 【取材:戸塚、レアウト:高木】